

# 踏み跡 <My Mountains>

山歩きの絶頂期には、志賀高原はスキーのメッカという印象が強く、登山の対象としてはあまり真剣に考えたことはなかった。実際には2000m級の山が並び、冬の雪の深さなども考慮に入ると、夏には残雪と高山植物とでかなり良い山になるのだらうと思いはしたが。

平成8年の夏に発哺温泉から岩菅山に登ったのが、この山群に興味を持つきっかけになった。自動車道が整備されているので、車を使って山歩きすることにした。

平成23年7月12日 晴

## <自宅→草津温泉→熊の湯・硯川温泉(泊)>

ドライブ距離が長いので久しぶりに早朝出発とし、5時半起床、朝食をとらずに6時半出発。

千葉北ICから東関東自動車道に入り、首都高速経由で関越自動車道へ。天気は快晴で文句なし。高坂SAで朝食、途中で景色を楽しみながらの休憩をとり、渋川で国道353号線へ。

渋川から中之条へ向かう道は、幅の広い谷が徐々に狭くなり左右の山並みが迫るようになって行く、そして最後は迫る山波に飲み込まれるように山あいに入って行く。まさに地形を楽しむことができる面白さがある。

中之条から145号線を長野原経由で国民的観光地「草津温泉」。湯畑周辺を散策してみようと思ったが、駐車スペースがなく、道路事情も良くないので車窓からの見物に留めて先へ進むことにした。

高度をあげるにつれて雲がちになり、先程まで快晴だった空に遠雷も響き始めてきた。まだ青い空も見えているので、殺生河原で振子沢と青葉山の景色を眺めながら果物タイム。

白根火山の駐車場に車を入れて少し歩いて見ようと思った矢先、大粒の雨と雷が襲ってきた。車からは一歩たりとも出られないような猛烈な降り方なので、雨音をBGMにして小一時間の昼寝。

思いがけず拾った休憩時間の後は、再び現れた碧空と切れた真っ白な雲。弓池とその周辺の湿原を散策。小さな池の水面に映る青空と山肌の模様が美しい。(写真：上段左)

次は万座温泉を車窓から見物した後、木戸池・下の小池・蓮池と寄り道。小刻みな散策をいくつも繰り返しながらそれぞれの景観のそれぞれの特徴を楽しむことができる。

田の原湿原はかなりの広さで、しかも人があまり入っていない。(写真：上段中)大きなアザミが出迎えてくれ、湿原に入るとすぐに絶好の見頃と言える状態のワタスゲが目に入って来た。ニッコウキスゲ・ワタスゲ・モウセンゴケなどを楽しみながら一番奥まで行って見た。折り返し地点はニッコウキスゲが咲き乱れる大斜面。広い湿原で休む所もないので、雷雨の再来を心配したが無事帰還できた。

本日の行程はここまでとして、予約してあった熊の湯の硯川ホテルに17時に到着。

## 平成23年7月13日 晴 <熊の湯→四十八池→秋山郷→熊の湯・硯川温泉(泊)>

今日も天気は快晴。9時にホテルを出発して前山リフトで上に上がり渋池・四十八池の散策。

四十八池は海拔2036mの志賀山の真下であり、なかなか良い所だったが、中学生・高校生の団体が1000人ほど入って来ると言うので早目に切り上げて退散。下山も前山リフトを使い、高天原のホテルで昼食。これにて午前の部は終了。(写真：中段左=四十八池/中段中=渋池)

午後は奥志賀スーパー林道(雑魚川林道)を秋山郷へドライブ。秋山郷へ入ってみたいと思い始めてからか



## 踏 み 跡 <My Mountains>

れこれ 40 年位になるだろうか。昔は志賀草津ルートに繋がる雑魚川林道などなかったもので、長野県側から入るにしろ新潟県側から入るにしろ大変な秘境で、秋山郷へ行って来るだけで登山に準ずる重みがあった。蓮池で国道 292 号線を離れると、暫くはスキー場ばかりが目立つようになる。そして焼額山を過ぎると別荘地が目立つようになる。ところが、野沢温泉への分岐を分けると俄に雑魚川の深く切り落とされたような U 字谷にしがみつくように走るようになる。(写真：上段右) いくつかの小沢の出会いにはスノーブリッジやデブリの跡が残っていたりで、豪雪の冬を感じることができる。山肌にはこうしたいくつもの天変地異が切り刻んだ文様がうかがえる。

やがて左手に鳥甲山が仰ぐような高さで覆いかぶさってきた。秋山郷の一番奥地になる切明温泉まで来ると谷の険しさはいくらか和らぎ、空も広がるようになってきた。雑魚川はここで魚野川を合わせて中津川と名を変えて日本海に向かう大きな流れになる。

切明温泉で暫く景色を楽しんだ後、U ターンして帰路に就いた。雨が降ったり暗くなったりしたら、車で走るのも少々恐い感じの林道を緊張の面持ちで走り抜けていたら、道端を猿が親子連れで歩いているのに出会った。(写真：下段中)

雨に遭うこともなく、明るいうちに熊の湯まで戻ることができた。硯川ホテルに 16 時半帰着。

### 平成 23 年 7 月 14 日 晴 <熊の湯→草津温泉→野反湖→帰宅>

快晴続きでうれしい限り。朝風呂・朝食・小休止の後 9 時に出発。吉祥寺の長女宅から緊急連絡が入り、16 時半までに立ち寄ることになった。カーナビゲーションをセットして、持ち時間を睨みながら帰途の寄り道を楽しむことにした。

草津温泉から湯川に沿って東側に下ると、静かな田舎の景色が続き草津温泉の喧騒とは全くの別世界。

時計を見ると、持ち時間に余裕がありそうなので野反湖へ行って見ることにした。

六合村で左折して国道 405 号線を白砂川に沿って北上、花敷温泉・尻焼温泉への分岐を過ぎると人気のない山峡に入ってしまう。分岐から 15Km ほどで野反湖畔の駐車場に到着。

野反湖はロックフィル式ダムで、白砂山などの山へのアプローチになる所。一度見たいと思っていた湖で、何度か計画したが実現できなかった。海拔 1514m、あと 500m ほど北上すると新潟県と群馬県の県境になる。湖畔はニッコウキスゲが満開で、緑地はことごとくオレンジ色に染まっていた。(写真：中段右)

帰り道は、途中で昼食を食べたり道の駅巡りをしたりしながら下り、渋川伊香保 IC から関越自動車道に入った。練馬で下りて吉祥寺の長女宅に立ち寄り夕食の後帰宅。天候に恵まれ、温泉あり、湿原あり、湖あり、山も花も景色も思う存分楽しむことができた「志賀高原ぶらり旅」だった。 以上

